

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

股関節臼蓋形成不全 MRI 検査における Bone like imaging の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年8月1日～2023年11月17日までに昭和大学病院において、股関節臼蓋形成不全の診断目的で股関節MRI検査と股関節CT検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年MRI検査でもCT画像のようなbone imagingで画像診断を行うことができるMR bone imagingの有用性が報告された。従来、MRIでは皮質骨を画像化することは困難とされていたが、MR bone imagingは、MRIの撮像条件の一つであるエコー時間(echo time; TE)を超短時間(ultra short TE; UTE)で撮像することで、皮質骨からの信号をイメージングできる技術であり、取得した画像を白黒反転(Invert)表示させることでCT画像のように観察することができます。

股関節臼蓋形成不全を対象とするMRI検査では、関節軟骨の観察を目的にMultiple Echo Recombined Gradient Echo(MERGE)を撮像しています。MERGEは、MR bone imagingに近い撮像条件で撮像することができます。本検討では、股関節臼蓋形成不全を対象とするMRI検査で撮像されたMERGEがbone like imageになるかどうかを検討することが目的です。

研究方法は、2020年8月から2023年11月までに整形外科依頼で股関節臼蓋形成不全MRI検査を実施した30症例を対象とします。MRI検査で撮像されたMERGEを白黒反転(Invert)表示して、CT画像と比較します。比較の方法は、MERGEとCT画像の大腿骨あるいは臼蓋など骨の信号と筋肉の信号の差や関節の距離を求めて、比較します。また、Invert表示したMERGEの画像が、CT画像と比較して比較して、同等の評価が得られるかどうかを検討します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より研究機関の長の研究実施許可を得てから、2024年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：MRIとCTの各画像データ、患者情報(年齢、性別、治療方法)

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 昭和大学病院 放射線技術部 氏名 本寺 哲一
(昭和大学保健医療学部 保健医療学 教育学)

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部 氏名：本寺 哲一

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-6426-3269